

令和 7 年度 文化財防災訓練等実施状況報告

都道府県名

東京都

行事名称	大國魂神社消防訓練
実施期間・日時	令和 8 年 1 月 2 6 日午前 1 0 時 0 0 分から午前 1 1 時 3 0 分
実施場所	大國魂神社拝殿（府中市宮町 3-1）
主催者	大國魂神社・東京消防庁

■実施内容

訓練の想定

大國魂神社の拝殿において地震により火災が発生し、負傷者が複数発生するとともに、初期消火では消火しきれず、重要文化財等に延焼危険が生じたとの想定

訓練の内容

大國魂神社の巫女による火災の発見と消火器による初期消火、参拝者への避難誘導を実施する。東京消防庁災害時支援ボランティアと府中女性防火の会により負傷者へ応急救護を実施する。大國魂神社自衛消防隊による 119 番通報、重要文化財等の搬出、屋外消火栓による消火活動を実施し、消防隊到着後、消防隊へ情報伝達を実施する。東京消防庁消防部隊、府中市消防団、大國魂神社自衛消防隊、放水銃による放水訓練を実施する。

参加者及び役割分担

大國魂神社巫女・自衛消防隊（13名）：初期消火、避難誘導、119番通報、重要文化財等の搬出
東京消防庁災害時支援ボランティア（3名）：応急救護
府中女性防火の会（3名）：応急救護
府中市消防団本団・第9分団（8名）：放水訓練
東京消防庁消防部隊（11隊42名）：全体統括、放水訓練
安全管理係員等の消防職員（36人）：進行管理

特に工夫した点

- ・境内での事前訓練が実施出来ないことから、JRA 駐車場にて 2 回に分けて放水訓練を実施した。
- ・大型車両が参道に乗り入れる際と砂利内で切り返しを実施する際には敷板を活用し、境内の保護を図った。
- ・訓練開始 1 時間前に一般参拝者の入場を規制し、事故防止を図った。

問題点・課題

演習終了後資器材撤収の際、早期に一般参拝者の入場規制を解除したので、撤収作業者と一般参拝者の接触危険があった。

その他

毎年、文化財防火デーにあわせて文化財施設の消防訓練を実施し、文化財等の大規模木造建物火災に対する消防技術の向上と消防部隊等との連携強化を図ることが不可欠である。また、文化財関係者や地域住民の文化財に対する愛護気運を醸成することは大切であり、今後も継続して実施して行くことが望まれる。

訓練風景



大國魂神社巫女による火災発見



大國魂神社自衛消防隊による初期消火



東京消防庁災害時支援ボランティアと府中女性防火の会による応急救護



一斉放水



消防ヘリからの一斉放水の様子